

令和三年

各会派 基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長
白田 信夫

「日常」取り戻す ために邁進

新型コロナウイルスの世界的感染爆発が続く中、新しい年が明けました。感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、県民一人ひとりに引き続き三密回避に頑張ってください。一日も早く「日常」を取り戻せませうよう祈念しております。

昨年九月に発足した菅義偉内閣は、「国民のために働く内閣」をキャッチフレーズに、感染拡大防止対策を最優先課題に政権運営に努めています。

本県議会の最大会派であるいばらき自民党も、本県で初めて感染者が確認される一カ月以上も前に、大井川知事に対し「緊急要望」を行ったのははじめ、医療や観光関連団体など各種団体からの要望聴取や、所属

議員による地域での切実な声の把握等に取り組み、県政への反映に奔走するなど、「見えないう脅威」と向き合ってきました。

昨年暮れには、県の新年度予算編成に向けて、新規九十六件、一部修正百三十八件を含む二千六百七十四項目の「令和三年重要政策大綱」を知事に提出。感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指し、巻頭で「感染症対策に係る最重要政策項目」を特出したのが特徴です。

今回、我々が基本方針の一つに挙げたのは、「諫言(かんげん)」を尊ぶ精神です。諫言は、組織の上に立つ者にとって貴重な教訓と言えますが、二元代表制の下で県政を担う県議会にも当てはまることであり、改めて肝銘し、日々の政務活動に邁進してまいります。

今秋には、知事選が予定されています。民意の反映にまたとない政治日程であり、同志四十二名に対して、県政への注文をどしどしお寄せ下さい。併せて、県民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

県民フォーラム



県民フォーラム
代表
齋藤 英彰

県内経済・産業の 発展に尽力

昨年の新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、県が実施している様々な施策に対して、ご協力頂いている県民の皆様、この新型コロナウイルスの感染は、国内だけでなく全世界に拡大しており、

いまだ収束する兆しが見えず、本県においても社会経済など様々な業種・分野に影響を及ぼしております。

県民フォーラムとしても、新型コロナウイルスの感染拡大の防止や生活者・事業者への支援等に迅速に取り組みよう、大井川知事に要請を行ってまいりました。引き続き、県民の皆様の安全・安心な暮らしを取り戻すことは勿論ですが、今後の変化する社会構造への対応や、新型コロナウイルスによつて大きく疲弊した県内経済と産業の回復、更なる発展をめざし、県民フォーラム一同、精一杯取り組んでまいります。

今後も県民の皆様と連携しながら、地域主権を旗印に生活者や働く者の立場に立ち、共生社会の実現をめざしてまいります。本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公明党



公明党
茨城県議会議員
代表
高崎 進

希望が持てる より安心な暮らしへ

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、昼夜を問わず尽力いただいている医療関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が社会・経済・生活に甚大な影響を与えて

いる事態を乗り越え、明るい未来を切り開くためには、感染拡大への備えや経済対策に万全を期した上で、将来の見通しを示し、県民の不安払拭に努めることが必須であります。感染症の一刻も早い収束に取り組み、ポストコロナ時代の新たな社会の構築を目指してまいります。

また、大規模自然災害から県民の命を守るため、切れ目のない防災・減災施策を積極的に推進する必要があります。引き続き防災・減災を政治の主流にし、強靱な地域づくりに取り組んでまいります。

私も公明党は、県民の皆様の小さな声も政治に反映するため、令和三年度茨城県予算編成に向け、三百八項目の政策要望を取りまとめ、昨年末に大井川知事へ提出しました。今後も希望が持てるより安心な暮らしを実現するため、全力で働いてまいります。

日本共産党



党会
議長
共 産 党
本 城 団 長
日 茨 議 員 団
山 中 たい子

くらしと雇用・生業まもる 「公助」の役割発揮を

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなか、新しい年を迎えました。感染リスクの高い高齢者施設などのPCR検査を広く実施し、無症状者を発見・保護・追跡する感染源対策が求められます。

その感染症対策の最前線に立つ保健所は、統廃合と職員削減で脆弱となり、保健師の増員など体制強化が急務です。医療機関への直接支援も必要です。

地域経済は、消費税増税による景気悪化に加え、コロナ禍のもとで落ち込んでいます。消費税を5%に戻すことです。

介護保険制度スタートから二十年、保険料は二倍になりました。一方、介護事業所の倒産が過去最多です。保険料・利用料に跳ね返らないよう国庫負担割合を引き上げ、負担の軽減と介護報酬の増額を求めます。

七十五歳以上医療費の窓口二割負担への引き上げを撤回させましょう。経済的理由で受診を我慢し、病状を悪化させることになりかねません。

古くて危険な東海第二原発の再稼働ストップへ力を合わせましょう。昨年の県民投票を求める八万七千人の直接請求署名は、県民運動の画期となりました。

市民と野党の共闘の前進で、くらし・家計応援第一の政治をつくりましょう。

令和三年一月臨時会 日程および概要

令和三年1月22日(金)

- ・ 開会、知事提出議案説明
- ・ 会派代表による質疑
- ・ 常任委員会(防災環境産業委員会、保健福祉医療委員会、文教警察委員会)
- ・ 採決、閉会

概要

令和三年一月臨時会が一月二十二日に開催され、知事から、令和二年度茨城県一般会計補正予算案(新型コロナウイルス感染症対策)および地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分議

案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑などが行われました。

なお、代表質疑などの詳細については次号に掲載いたします。

●質疑者

- 西野 一はじめ (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 江尻 加那 (日本共産党)